報道資料

くらしの中に
総務省
MIC Ministry of Internal Affairs and Communications

平成 27 年 2 月 25 日
近 畿 総 合 通 信 局

Ｇ空間シティ構築事業に係る実証実験の実施

～ 都市災害発生時の地下街における避難情報伝達システム実証実験 ～

総務省は、平成 25 年度補正予算「Ｇ空間シティ構築事業」の一環として、「Ｇ空間シティ地下防災対策コンソーシアム」（実証事業代表者：立命館大学情報理工学部 情報システム学科 西尾信彦教授）が開発した「地下空間での災害時情報伝達システム」による避難情報伝達に係る実証実験を、大阪梅田地下街での防災訓練に併せて実施します。

１．実証実験の概要

総務省では、Ｇ空間情報（地理空間情報）のＩＣＴによる利活用を促進し、経済の成長力の底上げ及び国土の強靭化を図るため、「Ｇ空間シティ構築事業」を実施しており、昨年 7 月に、「世界最先端のＧ空間防災モデル」及び「先進的・先導的なＧ空間利活用モデル」について、10 件を採択いたしました。

今般、モデルのひとつである「被災に伴い制限された通信環境下における、地下空間を含む情報伝達・避難誘導支援の実現（実証事業代表者：立命館大学情報理工学部 情報システム学科 西尾信彦教授）」に係る実証実験を、大阪地下街株式会社等の協力を得て実施します。

この実証実験では、都市災害発生時を想定し、地下街防災訓練に併せて、世界最先端のG空間技術として、準天頂衛星、IMES、Beacon、Wi-Fi、近接通信技術、3D空間モデル、PDR（歩行者向け自律航法）、人流センシングなどの技術を利用することとしています。

詳細は、【関連報道資料】の立命館大学プレスリリースをご参照ください。

２．実施日・場所

日時 ： 平成27年3月6日（金） 8時30分から約1時間
場所 ： ホワイティうめだ

３．実施主体

「Ｇ空間シティ地下防災対策コンソーシアム」
実証事業代表者：立命館大学 情報理工学部 情報システム学科 西尾信彦 教授
電話番号：077－561－2741

４．参 考

本実証実験は、総務省平成25年度補正予算「G空間シティ構築事業」の一環として実施するものです。

【関連報道資料】

○ G空間シティ構築事業ウェブサイト
http://www.g-city.go.jp/index.html

○ 立命館大学のプレスリリース
http://www.ritsumei.jp/news/detail_j/topics/?news_id=13174&year=2015&publish=

連絡先：情報通信部　情報通信振興課
担　当：松山、長野
電　話：０６－６９４２－８５２０